

会 議 録

会議の名称	中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）修正案に伴う市民説明会
日時	平成 28 年 6 月 18 日(土) 午前 10 時 00 分～午前 10 時 40 分
会場	中野市立平岡小学校体育館
出席者等	<ul style="list-style-type: none">・参加者 11 人・教育委員会出席者 8 人 教育長、教育委員 2 人 学校教育課長補佐、施設係長、事務局 3 名・報道機関 なし
次第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 あいさつ3 基本方針（案）修正案について4 質疑5 閉会
その他	添付資料：基本方針（案）修正案 北部地区小学校統合計画敷地配置図（案）、通学距離 発言内容は別紙のとおり

(別紙)

中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）に係る市民説明会

日時 平成 28 年 6 月 18 日（土）
午前 10 時 00 分～午前 10 時 40 分
会場 中野市立平岡小学校体育館

1 開会（AM10:00）

・進行：教育次長

2 あいさつ

・教育委員長あいさつ

3 基本方針（案）について

・教育次長から資料の説明

4 質疑

意見

○ 反対されている方の主な理由を、お聞かせいただきたいです。

回答

○ 各会場で行われた説明会の中で一番共通する点は、学校がなくなれば、地域が衰退する。地域の活性化には逆行する。さびれていく。皆さんがおっしゃっていた共通する一番大きな理由であったかと思います。

○ どんなに子どもが少なくても教育はできる。極論ですが、マンツーマンでも教育はできる。一人のお子さんに対して、たくさんの時間をかけて教育ができる、行き届いた教育ができると、2つあげるとすれば、それが大きな理由で聞いております。

意見

○ 校舎の配置図は、確定ではなく、1つの案ということではありますが、いつかの資料で今年の子どもの数、4校合わせると2つの学年で、70名超えるようになっていたかと思います。そうすると3クラスになる。今のままで、12クラスは入ると思うが、3クラスになった場合、コンピュータ室を普通教室に戻すということになるかと思いますが、そうした場合、教室が足りなくなる。1階の部分を増設するとなっていますが、2階部分、3階部分を増やせば、多少子どもの数が増えても足りると思う。いざとなつてあわてないように、ある程度先を見越した設計をお願いしたいと思います。

回答

- 教室の質問の件ですが、平成 32 年 5 月 1 日現在時点で、13 クラス必要になります。特別支援を含めて 15 クラスです。教室番号は 16 番まで記載しています。ピンク色に塗ってある部分が増設する部分で予備教室であります。もし、1 クラス増えても大丈夫ということで、16 教室で対応していきたいと考えております。コンピュータ室の関係ですが、どの学校とも、現状で十分足りていると考えています。

意見

- ちょっとわからないのですが、13 クラスというのは、承知しておられるようですが、増設した教室、16 番を普通教室にするというのは無理ですよね。

回答

- そこは大丈夫であります。

意見

- 16 番の位置は、北側で日が当たらない。普通教室には向かないと考える。やはり南側に普通教室があった方がよいと思うのですが、そのところ考えてみてください。

回答

- わかりました。

意見

- 最初の説明会を踏まえて、修正をしていただき、様々な声に耳を傾けていただいたことに感謝申し上げます。小中一貫校について、理解が十分でないとの話であります。それでも導入していこうという方向で、記載されているように感じます。県内の信濃小中学校や佐久の小中とかの例など小中一貫校が必ずしもよいといえないような先生方の声も聞こえてくる中、踏み込もうとするねらい、市教委のお考えをお聞かせください。

回答

- 小中一貫校については、様々な意見いただいたことは事実です。それを受けて、現在やっている連携教育、小学校同士、4 校でやっている 4 校交流活動を深めていく中で、一貫教育のメリット、デメリットを現場の先生方で研究していただく。目指すという表現はしていますが、連携教育の中で、こういった形がいいのか研究を深めたい。目指すということがないと困るので、小中一貫教育がよいのか見極めていきたいという思いであります。何が何でもしがみついても進めるという強い思いではなく、研究を深めていきたいという思いで記載しています。

意見

- 一点目、議会の一般質問での答弁でもありました。本日が、11回目、最終日の説明会で、丁寧に説明していただいて大変良いことだと思います。今日までの段階、9地区で説明会が開かれて実際166名の方が参加された。多いところで30数名、少ないところで4名であった。多いからよい、少ないからいけないという理屈ではなく、丁寧に説明はなされたのであろうと思います。そういう状況の中で、地区の皆さんの合意が得られたとの報道がなされ、本日は12人、13人。個々の意見を一人ずつ聞いたわけではない中で、賛成意見も反対意見もあり、当局にとっては、一定の理解が得られたとイメージしている。出席率対ご理解を得られているというコメントの関係性をどう捉えているか。選挙の投票率も低いという地域性もあるが、それは関係ないにしても、どう捉えているか、一点お聞きしたい。

回答

- 議会でも様々なご意見いただいております。一定の理解という新聞報道等が書かれていますが、教育委員会としては、人数で何人が賛成で、何人が反対ですと申し上げるつもりはありません。出席者が多い、少ないということもありますが、中野市全体を通して2回の説明会、保護者説明会、パブリックコメント、教職員への説明会等、その都度のご意見をいただき、教育委員会でも何回も討議しています。その中で、総合的に教育委員会で一定の方向の判断をさせていただきました。市長とも協議し、議会の皆さんにも理解を得ているつもりであります。

意見

- 最後の決断としていただいたと思っています。歴史が結果を出すと思います。もう一点ですが、私は、団塊の世代で、高社中学校が4地区の中学校が合併したときの1期生です。厳密には、違うところもありますが、先輩はご存じかと思います。2年生の時に、入った。考えてみると中学校の合併がされたときは、これほど丁寧な説明はなかったと思う。建物ができない中でのスタートであった。状況が変わり、子どもたちの環境の変化の中で、統合とか合併とか言葉を使っています。表現を見ると平岡小学校へ集約するとなっています。企業的に言えば、M&A吸収合併なのかというような形であるのでしょうか。平岡地区からすると大きいところを集めて、平岡小学校の名前を残して、校歌「高社の峯が呼んでいる」といういい歌がいいと思いますが、倭、長丘、科野の4地区が集った時の、校名だとか、4年後の先に向けてどうなるのでしょうか。平岡小学校へ統合、吸収合併するのだというイメージと、4地区全体の中で、高社中学校があって、高社小学校があるというイメージとあるがどうなのか。校歌についても、平岡小学校の子どもたちは、この校歌を、覚えているからいいが、新たな子どもが来た場合は、違う校歌となり、スタートラインが変わってしまう。同一線に乗ろうとしたときに、吸収合併ではなく、高社中学校ができた時のようにスタートラインは一緒になるといいなと思います。4年後、3年後のことで、その辺の方針について、腹心があったら教えていただきたい。

回答

- あくまでも平岡小学校への吸収合併ではありません。4小学校とも表現が適切かわかりませんが、ゼロからのスタートです。一旦、閉校し、閉じていただきます。仮称統合準備委員会でもこの部分から討論していただきたいなと思っています。その中で、いろいろな問題でてくると思います。校歌、校章、学校にあるお宝、100年以上続く伝統のある学校がほとんどですので、今後どう扱っていくか。全部ゼロにして、あらたに4校でどうするか研究討議して欲しいというつもりであります。

意見

- 駐車場の件で、確定ではないということなので、要望であります。グラウンドの東側を広げ、大きい駐車場にする計画になっています。この場所は、木が植えてあって、子どもたちが飛んだり、跳ねたりしている場所であります。その場所は残してもらいたい。逆にもっと木を植えて増やしていただきたい。通学距離が広がるということで、駐車場が必要になるのはわかりますが、駐車場は、別の場所にしていただきたい。子どもたちにとって大切な場所である。駐車場にすることはやめていただきたいと思います。

回答

- 貴重なご意見ありがとうございます。ご要望としてお聴きしておきます。

意見

- 5月22日に倭小学校で説明会があり、私は参加できなかった。昨年度、倭小学校で行われた説明会に参加した折には、保護者の方からというより、地域の方々から地域の存続という観点からどうなのだとの意見が多かったかと認識しています。22日の倭小学校での説明会、保護者の皆さんは、ぜひ統合してほしいとの意見は承知していますが、地域の皆さんの声はどのようなものがありましたでしょうか。

回答

- 倭小の説明会当日は、お二人の保護者の方が、今言われた趣旨でご意見・要望述べられました。地域の皆様からは発言はございませんでした。教育委員会といたしましては、1回目の説明会の時の地域の皆さん声は、しっかり受け止めて「子どもたちのために」どうするかということにウエイトをおき、今回の修正案を提示させていただいております。

意見

- 具体的に2回目の説明会では、地域の方から声はなかったわけですね。

回答

- 会議録は公開しております。1回目の説明会の時の「あの声」が、地域の皆様の声だと認識しています。

意見

- 近い人と話しをしてきたのですが、その中で出てきたことです。学校の説明会については、少子化になってきている。そういう中で学校を維持するのが厳しい状況になってきているから、統合が避けられないということで、方針を出して説明している。はたと考えたのは、学校のことだけをやっているが、「地域を活性化させる」という観点では、中野市では動きはあまり見受けられない気がする。ここも説明会に教育委員会が来て、学校に関して説明しているわけですね。私は金井に住んでいます。金井とか若宮では、学校がある。学校がつぶれないから団地ができています。子どもは生まれている。学校へ来る。そういう状況です。そうでないところは、どんどん高齢者が一人ふたりと亡くなる。厳しい状況になっている。色々な状況を見る中で、そこに人が住むことは、よくないというか、マイナスイメージだけのことなのか。もっと違う方法が考えられないのかと思う。教育委員会に話をすることではないかもしれませんが、例えば、飯山に新幹線の駅ができ、それなりに使われていて効果があると思う。中野市全体を活性化させる観点からものを考えていく必要がある。市の教育委員会でない他の部局からも職員が来て、意見を聴くとか、また意見を求められたら、担当部署の考え方について意見交換する必要があると思います。

回答

- 確かに学校を管理し、維持していくことは、お金が掛かるというのは事実ではありますが、教育委員会としましては、子どもたち1クラス一桁の人数となっていることを考えると、統合が最優先であります。その観点で、説明会を実施させていただいております。北部地域をはじめ、豊田地域においても、学校がなくなれば地域が過疎化してしまうとか、地域をもっと活性化させてほしいとか、ご意見いただきました。市としましては、他の部署で総合戦力を計画して進めています。そちらの部署と連携を図りながら、進めて参りたいと考えています。ご要望としてお聴きしておきます。

5 閉会 (AM10 : 40)